



財団法人 星総合病院

けん こう

懸 虹

(題字は名誉理事長直筆)

平成22年1月 No.265

新年のご挨拶

人と人との「こころ」をつなぐ
温もりある医療の提供を目指して



雪の安積山 (F25、2004)

名誉理事長 星 一雄

- 新・養護老人ホーム
三春町敬老園完成
- 第76回集談会
- 第11回解剖医霊祭
- 設立つマタニティー
クラス！
- くすりQ&A
- 施設ニュース

醫

靈

「製薬大手新興国に活路」こんな新聞記事が目についた。DPCが本格稼働して、星病院の薬剤は後発品が多くなった。医療費抑制は国の政策であり、病院の経営上当然の方向性と言える。医師となつてから治療や関連した実験、学会や研究会発表、論文投稿など製薬会社との関わりは少なうなかつた。日本の製薬会社はどうなつてしまふのか。余計な心配かもしれないが、実は大きな問題を含んでいることは確かである。記事の中で、製薬会社に限らず、日用品、流通などグローバル化の流れの中、成長著しい中国、インド、ブラジル、メキシコ、ベトナムなど新興国へ店舗進出が相次いでいる。医薬品市場でも、欧米では後発品の普及が日本以上に進み、薬剤の膨大な開発費捻出のため早くから新興国に活路を見出すうとしていた。一方、日本企業は国内での利益確保を優先したため、欧米に比べ10年遅れていると述べられている。記事は言う、出遅れた日本企業が巻き返すには「優秀なMR（医薬情報担当者）、人材の確保にかかつて」と。この熾烈な国際競争の場で巨大な企業の成否を決めるもの、それは社員個々の能力なのである。病院は利益を目的とした企業ではない。しかし、多くの患者さんに選択されなければ継続できないのも事実である。そのために最も重要なものは？きれいな建物？最新の機械？勿論、選択の理由の一つとなるだろう。しかし、受診した患者さんがこれだけで満足するだろうか。気持ちよく受診して、きちんと治療して帰る。それを可能にするのはやはり職員個々の能力、努力を最大限に発揮することではないだろうか。星病院も新病院へ向けて始動した。職員一人一人が知恵を出し合いよりよいものができればと思う。

亀岡 浩

＜醫靈＞靈をも癒(醫)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当院の理念

人と人との「こころ」をつなぐ温もりある



財団法人星総合病院 名誉理事長 星 一雄

新年あけましておめでとうございます。

昨年末は、当法人が指定管理を行う養護老人ホーム三春町敬老園が、町立三春病院隣に新築移転致しました。三春病院との連携を密に、入園者の健康管理体制や食事提供等、様々な面でのサービス向上を図っていきます。

本年、当法人は開設85周年を迎えます。星総合病院の新病院建設への期待は大きく膨らみますが、地域医療における当法人の役割を再認識すると共に、当法人の理念である「醫靈」の精神に立ち返り、患者様との心のつながりを大切に、誠心誠意を尽くした医療の提供を目指して参ります。

今後とも、当法人に対してご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当法人の理念は、「醫靈である。これは辞書には載っていない語である。創始者星一郎が、私達の持てる力を最大限に發揮してもなお救えなかつた人々の靈に對し、その靈をも醫癒したい。それが医道を歩む者が生持ち続けなければならぬという覚悟である」という信念が込められている。医療医学は科学であるが、その対象は情と心を持った人間である。このことを常に念頭におき、科学と人間の使命である。医の原点を見据えながら「醫靈」という理念の具現化を図っていくたい。



財団法人星総合病院 理事長 星 北斗

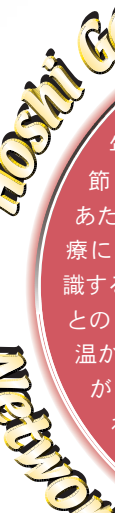
現在の駅前アーケード内に、星総合病院の前身である星医院が開設されてから、今年で85周年を迎えます。長きに渡りご支援いただいた地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて今年は、星総合病院の新病院建設計画が大きく動き出す一年になります。昨年末に行われた署名活動では地域の皆様から多くのご支援をいただき、実現に向けて大きな励みとなりました。今年一年を新病院建設へ向けた準備の一年と位置付け、全力を尽くして取り組んで参ります。

未来を見据え、様々な局面を乗り越えていくためには、職員の人材育成も大きなテーマです。個々人の専門職としての確かな技術の成熟はもちろんですが、医療人である前に一社会人としての成熟にも重点を置き、より広い視野を持った職員の育成を図っていきます。

2010年、当法人にとって飛躍の年にしていきたいと思います。

今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



本年当財
は開設八十五
年を迎えます。こ
節目の年を迎える
あたり、改めて地域
療における役割を再
識するとともに、人々
との「こころ」をつな
温かみのある医療に
がけ、皆様から愛
れ信頼される病
を目指してま
ります。



財団法人星総合病院 副理事長 星 二郎

明けましておめでとうございます。今年もよろしく願い致します。

星総合病院の新築移転計画が徐々に具体化しつつあり、今年はいよいよ着工へ向けて大きく動き出す一年になることが期待されます。新病院建設早期実現に向けた署名活動が昨年末に実施されましたが、当初の予想を上回る約5万名の署名を頂戴することができ、大変うれしく思います。同時に新病院へ寄せられる期待がいか

に大きなものであるか改めて実感するとともに、身の引き締まる思いが致します。

皆様の期待に応えるべく、新病院建設へ向けて、職員一丸となって取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



財団法人星総合病院 総長院長 丸山 幸夫

新年明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのことと存じます。昨年は経済不況が尾を引き国全体がやや沈んだように見えましたが、今年は虎年です。虎は千里往って千里還ると言われていますが、これにならって元気のいい年に致しましょう。昨年、本院は院長が木島先生に変わるとともに執行部も新しくなり、7:1看護、DPCの導入などがありました。皆さんのご尽力、ご支援により順調に経過しておりますが、今年は一層の発展が期待されています。さらに、患者さんへの医療提供をより充実させるということから本院の新築、移転が永年の願いになってきましたが、昨年秋、市民の皆さんからこれを支援するたくさんの署名を戴き大きな励みとなりました。新築移転がいよいよ現実のものになってきましたが、皆さんで知恵を出し合いこの数十年に一度の大事業を成功に導きましょう。よろしく御願い申し上げます。

医療の提供を目指して

理念



星総合病院 病院長 木島 幹博



新年あけましておめでとうございます。

去年は、DPCや7:1看護体制など新たな医療制度を導入いたしました。皆様方のご協力です。スムーズにスタートが出来、軌道にのせることが出来ました。また患者さんに安心して安全かつ満足度の高い医療を提供するために当院には45以上の各種委員会があり、会議で検討された結果が医療現場に提供され良質な医療提供に還元されております。さらに医療現場で働く医師、看護師、ME、放射線技師、リハビリ科、薬剤師、栄養科、事務職員などの努力の結果、当財団は運営的にも順調であります。厳しい医療環境を考えると職員の努力、協力の底から感謝の気持ちで一杯です。

今年は新病院という新たな目標があります。これも皆様方の力なくして達成することは不可能です。「醫霊」という理念を実践するための場としての新病院建設に是非お力添えを下さいますようお願い申し上げます。

星ヶ丘病院 病院長 沼田 吉彦



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

当院においても、近年は、より安全な医療の提供、より質の高い医療の提供、分かりやすい治療計画の説明と同意等が求められてきております。また一方、医療現場においては、精神疾患に伴う暴力行為への対応など、より慎重に、かつ、冷静に判断する治療場面が求められており

ます。去年は、専任リスクマネージャーの配置や専任教育看護職の配置などを通じ、職員のレベルアップが図られてきました。

今年も、多様な精神疾患への対応が求められている中、増加してきている認知症疾患やストレス関連疾患への対応を課題としております。そのためには、現在運営している「精神科急性期治療病棟」を機能的に運営していくと同時に、更にもう一単位の「精神科急性期治療のあり方」についても、整備していきたいと思っております。今年も、医療スタッフがお互いに尊重し合い、また、地域と連携し、より一層の努力をして参りたいと思っております。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

三春町立三春病院 病院長 渡辺 直彦



新年あけましておめでとうございます。

平成19年4月から当財団が指定管理者として開設された町立三春病院ももうすぐ3年になり、新病院への移転、回復期リハビリ病棟の開設などを経て、順調に運営がなされているところであります。これもひとえに皆様のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

今年も敬老園の併設を期に、生活を見据えたりハビリの充実に向けて取り組んでいきたいと考えております。そして、安全で安心な医療の提供に心がけ、「人と人との～ところ～をつなぐ温もりある医療の提供」を目指し地域に信頼される病院として、職員一同なお一層の努力をしていく所存であります。

今後とも皆様の引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

介護老人保健施設オリオン 施設長 森 慶秋



明けましておめでとうございます。昨年の星ヶ丘地区での新年会では「新理事長に感謝します」とお話をしました。今年の新年には「星総合病院の皆さまに感謝を申し上げます」とお話しします。去年は患者として入院治療を受ける機会が3度ありました。7月、「よく見えないから新しい老眼鏡を処方してください」と眼科を受診しました。眼鏡を代えても見えないようにはなりません。白内障です。手術をしよう。術後眼帯の陰からちらっと覗いた時の壁の白さ。術前に入室した時は「なんてよごれた壁だな」と思ったのが第一印象でした。まさか自分の水晶体の汚れとも思えず大変驚きました。10月の77歳の家の誕生祝いの時にPCをいじっていたら左手の指が勝手なキーボードを叩くのです。これじゃあ仕事にならないと思いましたが10月12日は休日。13日火曜に脳外科を受診。MRIで右前頭運動領直前の脳梗塞と診断され即入院。点滴治療が開始されました。その後の検査、診察で右内頸動脈の狭窄、同時に冠動脈の狭窄も指摘されて続けて両部のカテーテルによる「PCI」術が施行されました。これらの手術での医師、看護師、技師などのチーム医療のお陰で新しい年を迎えることができました。本当にありがとうございました。

社会福祉法人愛星福祉会 理事長 星 光一郎



新年明けまして、おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年、政権交代に期待した国民は、誰が総理でどこが与党となったとしても国の財政は火の車、その事実を魔法のように立て直すこと等、すぐには解決できないことであり、現実には消費税増税で、相当な引き上げにならざるを得ないことを理解しました。

消費税のアップ策をにらみつつ、一方現在、規制改革会議の介護の分野でも取り上げられている、利用者自己負担割合の引き上げ、民間保険を含めた混合介護、利用者資産状況による特養の食費・居住費等の補助見直し等(以上、すべて負担増)、又、社会福祉法人への課税が実施されれば結局、介護保険料の大幅な値上がり、目的に反してサービスの質の低下を招くのではないかと心配になります。

温かい心の温かい福祉であり続けるために安心できる社会保障構築の議論が、確実に進展する一年であることを期待するとともに、法人としても一層の努力で実績を積み上げ、福祉の増進に寄与して参りたいと思っております。

新・養護老人ホーム 三春町敬老園 が完成しました

当法人は、三春町から委託され、平成21年4月より「養護老人ホーム三春町敬老園」の指定管理者として運営を行っています。

敬老園は、昭和39年に開設以来40年以上が経過、施設の老朽化が進んでいたため、平成20年5月より町立三春病院北側に移転新築工事を行っていましたが、昨年10月に竣工を迎え、12月中旬より新施設の運用を開始しました。

鉄筋コンクリート3階建てで全室個室（一部2人部屋兼用）、エレベーター完備、白を基調とした明るい園内で日当たりも良好です。個室でプライバシーも確保され、敬老園と同様に当法人が指定管理を行う町立三春病院に隣接していることから、健康管理体制も充実、安心して入所いただけます。



新敬老園外観



浴室



居室

“養護老人ホーム” ってどんな施設？

老人福祉法による老人ホームです。65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において生活することが困難な方々へ、日常生活に必要なサービスを提供します。入所を希望される方は、お住まいの市町村福祉課へご相談ください。（敬老園へ直接の申し込みはできません）

なお、見学については随時受け付けております。お気軽に敬老園までお越しください。

新・敬老園開園までの足あと

内覧会（11月19日～22日）

11月19日～22日にかけて、内覧会を開催しました。地域住民、市町村関係者、当法人職員等約400名が新敬老園を訪れました。



新敬老園建設工事引渡式（11月21日）

三春町関係者、菅野建設工業㈱、指定管理者から、約40名が出席しました。

施工業者である菅野建設による経過報告に続き、菅野建設の菅野泰助代表取締役より鈴木義孝三春町長へ、工事完成引渡書及び敬老園の鍵が手渡されました。引き続き、指定管理者を代表して、当法人の丸山幸夫総院長が、鈴木町長より鍵を受け取りました。また、三春町から菅野建設へ感謝状が贈呈されました。



鈴木町長より鍵を受け取る
丸山総院長

引越 し（12月15日～17日）

旧敬老園から新敬老園へ、引越しを実施しました。敬老園職員のほか、三春町職員、法人職員なども参加し、荷物の運び出しや搬入、入園者の移動を行いました。



開園式（12月25日）

入園者および来賓約80名出席のもと開催されました。鈴木義孝三春町長の挨拶に続き、財団法人星総合病院の星北斗理事長より、「新しい敬老園に魂を注ぐのは、われわれと入園者の皆さん。笑顔を絶やさず、仲良く楽しく暮らせるようにしたい。」との挨拶がありました。菅野建設から、ミーティング用テーブルが寄贈されました。



星北斗理事長による挨拶

問い合わせ先

【養護老人ホーム三春町敬老園】

住所：〒963-7752 田村郡三春町字六升蒔50番地1（町立三春病院北側に隣接）
電話：0247-62-3618

第76回集談会

平成21年11月12日 郡山ビューホテルアネックス

集談会は、当法人職員と地域医療機関の先生方が最新の医療を学ぶ場として、また職員の日頃の研究成果を、部門間の垣根を越えて広く情報共有することを目的に、毎年2回開催しています。今回は、診療部・看護部・医療技術部から9題の研究発表がありました。

また、特別講演には、福島県立医科大学医学部脳神経外科学講座 教授 齋藤清先生をお招きし、「脳神経外科手術の進歩」をテーマにご講演いただきました。症例を提示しながら、最新の手術や手術支援機器等について映像を交えてお話いただきました。260名の参加者は熱心に耳を傾けていました。

《一般演題》

総司会 小児科 加藤 一夫

◎座長 循環器病棟 佐久間浩樹

- | | | |
|---|-----------------------------|--------|
| 1. 地域で長く生活するために | 星ヶ丘病院 デイケア | 手塚 雅孔 |
| 2. 地域医療における教育研修の拠点に向けた活動に関する報告
ー「三春・田村地区 看護・介護合同研修会」から「医療職合同研修会」に至るまでー | 三春町立三春病院
教育研修委員会 | 永瀬 悦子 |
| 3. 乳がん術後、再発転移患者の不安内容の分析 | 星総合病院 看護部
(がん性疼痛看護認定看護師) | 小石沢ゆかり |

◎座長 中央検査科 鈴木恵子

- | | | |
|--|------------------------|-------|
| 4. 回復期リハビリテーション病棟におけるレクリエーションの試み | 三春町立三春病院
リハビリテーション科 | 奈良亜由美 |
| 5. 当院におけるリハビリテーションが必要な患者全例に介入するための取り組み | 星総合病院
リハビリテーション科 | 高見奈津子 |

◎座長 放射線科 星 宏治

- | | | |
|--------------------------------------|-------------|-------|
| 6. 表在播種型汗孔角化症の一例 | 星総合病院 皮膚科 | 白石 貴久 |
| 7. DNAミスマッチ修復遺伝子の変異を認めたMuir-Torre症候群 | 星総合病院 皮膚科 | 古川 裕利 |
| 8. 感染性心内膜炎における経食道心エコー検査の有用性 | 星総合病院 循環器内科 | 松井 佑子 |
| 9. BRCA2関連家族性乳癌の検討 | 星総合病院 外科 | 野水 整 |

《特別講演》

座長：脳神経外科 後藤 健

「脳神経外科手術の進歩」

講師 福島県立医科大学医学部
脳神経外科学講座 教授 齋藤 清 先生



財団法人星総合病院

第11回解剖医霊祭開催

11月5日、郡山ビューホテルアネックスにおいて解剖医霊祭を行い、平成20年10月～平成21年9月に、医学・医療の向上のために病理解剖に身をささげられた6柱の御霊を追悼し、ご冥福をお祈りしました。ご遺族や来賓、当財団職員など150名が臨席、星北斗理事長より、「ご遺族の体にメスを入れる耐えがたきを耐え、提供して下さったご家族の方に感謝申し上げます。」との式辞がありました。参列者一人一人が祭壇に献花を行いました。



【「病理解剖」について】

死亡の直接の原因、病気の状況、治療の効果の有無、合併症の有無や程度、過去の病気の痕跡などを病理医が検証し、今後の医学・医療の向上に寄与することを目的に行います。星総合病院では、昭和48年1月～平成21年9月までに計345柱のご遺体をご提供をいただいております。

役立つマタニティークラス！

—その①—

星総合病院産婦人科病棟 妊産婦グループ

皆さんの「マタニティークラス」に対するイメージはどのようなものですか？助産師の話をただ椅子に座って聞くだけ…そんなイメージではないでしょうか？少し前まで、当院のマタニティークラスもそれに近いものでした。しかし、『もっとたくさんの人に参加してほしい』『記憶に残るようなクラスにしたい』『家族みんなで参加できるクラスにしたい！』そんなスタッフの思いから、当院のマタニティークラスが変り始めました。

まずは
「他己紹介」
で仲間
づくり

妊婦さん同士、ご主人同士でペアをつくり、5分間自由に話をし、その後に、ペアを組んだ相手の紹介をしてもらいます。これが自己紹介ならぬ「他己紹介」です。「初めて会う人と上手く話せるか心配」と思うかもしれませんが、やはりここは同じ境遇の者同士！大いに話が盛り上がります。いろいろな話をするうちに次第に緊張もほぐれ、リラックスした雰囲気の中、マタニティークラスが始まります。

お産の
不安解消を
目指して

マタニティークラスでは、講義だけでなく、実技の時間もたくさん設けています。陣痛が始まったらどんな姿勢で過ごせばいいの？お産に付き添う人は何をしたらいいの？マッサージの仕方は？その一つ一つの不安を解消すべく、実際にご主人や他の妊婦さんとペアになり、様々な方法を試してもらいます（写真①）。また、お産がどのように進むのか、赤ちゃんがどのように産まれてくるのかについて、実際にお産のデモンストレーションを見ていただく試みも始めました。助産師が分娩台の上で妊婦さんになりきり、赤ちゃんが産まれてくるまでを再現します（写真②）。参加者の皆さんには足側から赤ちゃんが出てくる様子を見ていただくわけですが…これはご覧になってからの楽しみ！実際に見た方からは、「すごい！」「お産への不安がなくなった」「お産のイメージが湧いた」などの感想をいただいております。

飽きない・楽しい・実用的なクラスがモットーのマタニティークラスです。ぜひご家族皆さんでいらしてください！

次回もマタニティークラスについてのお話です。赤ちゃんが産まれた後の育児はどうすればいいの？そんな疑問にお答えするクラスをご紹介します。お楽しみに！

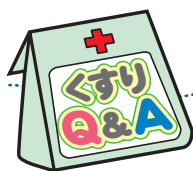
〈写真①〉



〈写真②〉



問い合わせ先 星総合病院 産婦人科病棟



病院の薬と市販薬はどこが違うの？

「街のクスリ屋さんで売っているクスリ」と「病院で診察を受けた後にもらうクスリ」はどこが違うのか、疑問に思ったことはありませんか？

クスリは、医師の「処方せん」に従って病院の中や調剤薬局でもらう「処方薬」と、街のクスリ屋さんで誰でも買うことが出来る「市販薬」に分けられます。

処方薬とは？

「処方薬」の場合は、医師が患者さんの症状を診断して、症状にあわせてクスリの量と種類を決めます。

「かぜ薬」を例にしてみますと、熱に対しては解熱剤を、咳には咳止めを等、医師が一人一人の年齢や体格によってクスリの種類や量を決め、症状を改善する為に必要なクスリを処方します。処方薬は「オーダーメイドのクスリ」と言えます。



市販薬とは？

処方薬に比べ、効果は緩和で、安全性を重視して作られています。

「かぜ薬」を例にしますと、熱、咳、のどの痛み等、“かぜ”の症状をある程度抑えるのに必要なクスリが平均的に入っている…いわば“既製のクスリ”です。

そのため、“咳”がひどいなど、特定の症状が強い方には“効かない”こともあります。そこが“オーダーメイド”と“既製品”の違いなのです。



注意

病院で処方されたクスリは「患者さん専用のオーダーメイド品」ですので、他の人に勝手に飲ませないようにしてください。

施設ニュース

パート①

星 総 合 病 院

糖尿病予防啓発イベント 11月14日

11月14日の「世界糖尿病デー」にちなみ、イベントを行いました。島田孝一糖尿病代謝科医師による講演をはじめ、糖尿病に携わっているスタッフが、患者さんやご家族からの質問や相談に個別に応じるコーナーも設置、療養上のアドバイスや、血糖測定などを行いました。



小児病棟クリスマス会 12月22日

職員がオーボエやハンドベル演奏を、またポラリス保健看護学院学生や病院ボランティアの方々がクリスマスソングを披露しました。また、職員が扮したサンタクロースとトナカイから、患児一人一人にプレゼントが手渡されました。



なお、プレゼントは、福島県骨髄バンク推進連絡協議会の皆様より寄贈していただきました。(写真左) どうもありがとうございます。

三春町立三春病院

みはる病院まつり 11月21日

あいにくの曇り空で室内での開催となりましたが、パワーリハビリ体験、血圧測定・栄養指導等の健康チェック、バザー、スーパーボールすくいその他、フランクフルト、とん汁等の軽食提供等、内容盛りだくさんで行われました。八幡町太鼓保存会の力強い太鼓演奏や、松蔭流舞扇会による華麗な舞いが祭りを盛り上げてくださいました。患者さんやご家族など200名の方々に楽しんでもらいました。



星総合病院・三春病院

年越しそば振る舞い 12月31日

星総合病院では、大晦日の夜を病院で過ごされる患者様のご家族に、温かいおそばで年越しを迎えていただきたいとの思いから、平成10年度より、年越し蕎麦の振る舞いを行っております。今年は約70名の方々に召し上がりいただき、ご好評いただきました。指定管理者制度によって管理運営を行っている町立三春病院でも同様に開催しました。



ポラリス保健看護学院

犯罪被害防止講習会 12月8日

福島県警察本部による、学生を対象にした犯罪被害防止講習会が行われ、2年生70名が参加しました。生活安全企画課の鈴木誠警部より、携帯やインターネットの危険性および性犯罪について、実例を交えながら被害に遭わないための対策をお話いただきました。犯罪から身を守る護身術の実演も行われました。



芳賀・小原田地域包括支援センター

健康教室 12月11日・12日

郡山市介護保険課の栄養士、遠藤香織先生をお招きし、「みんな元気に栄！養！」をテーマにお話いただきました。芳賀公民館・小原田公民館の両施設において開催され、地域の高齢者49名が参加しました。低栄養を予防するための食生活のポイント等についての説明がありました。



クリスマスコンサート

星総合病院 12月19日

郡山マンドリンクラブをお招きし、「高校三年生」、「天地人オープニングテーマ」、「アニメソングメドレー」などを披露していただきました。



星ヶ丘病院 12月22日

昨年に引き続き、今年もあさか開成高等学校音楽部によるコンサートを開催しました。吹奏楽担当の生徒21名が来院し、「もろびとこぞりて」、「きよしこの夜」、「赤鼻のトナカイ」など10曲を披露してくれました。



施設ニュース

パート②

星総合病院 新病院新築移転に関する署名活動の御礼

昨年末に行われました星総合病院の新築移転に関する署名活動では、お陰様をもちまして、目標の3万名を大きく上回り、約5万名の方々から署名をいただくことができました。ご協力いただきました皆様に、厚く御礼を申し上げます。

今後さらに新病院の新築移転早期実現に向けてより一層努力してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い致します。

星総合病院 病院長 木島 幹博

星総合病院 インドネシア人看護師候補者の 受け入れがスタートしました

看護・介護分野の労働者の受け入れを含む、日・インドネシア経済連携協定に基づき、日本では平成20年度からインドネシア人看護師・介護福祉士候補者の受け入れがスタートしました。当院では、今年度よりインドネシア人看護師を看護師候補者として2名受け入れることとなり、1月15日に郡山に着任後、オリエンテーションを経て就労が始まりました。

インドネシア人看護師候補者は、6ヶ月間の日本語研修を受講後、契約を提携した受入れ病院で看護補助業務で就労しながら看護師国家資格の取得を目指します。日本での滞在期間は最大3年間で、期間内に看護師国家資格を取得すれば、日本で看護師としての勤務が可能になります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

三春町立三春病院 三春警察署より感謝状を いただきました

三春病院は、日頃の警察業務への協力に対し、三春警察署より署長感謝状が贈られました。12月28日、三春警察署で行われた贈呈式に渡辺直彦病院長が出席、三春警察署の遠藤弘文署長より感謝状を受け取りました。地域医療への貢献等が評価されての受賞となりました。



中央列右から3番目が渡辺病院長



財団法人

星総合病院

HP <http://www.hoshipital.or.jp>

●星総合病院

〒963-8501 福島県郡山市大町二丁目1番16号
TEL 024-923-3711

●星総合病院 在宅介護支援センター

〒963-8501 福島県郡山市大町二丁目1番16号
TEL 024-923-3818

●星ヶ丘病院

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6411(代)

●星ヶ丘訪問看護ステーション

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-962-1711

●居宅介護支援事業所星ヶ丘

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6414

●介護老人保健施設オリオン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天2番地
TEL 024-952-6413(代)

●三春町立三春病院

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50
TEL 0247-62-3131(代)

●養護老人ホーム三春町敬老園

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地1
TEL 0247-62-3618

●ボラリス保健看護学院

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字金堀田4番地
TEL 024-922-9105

●芳賀・小原地域包括支援センター

〒963-8813 福島県郡山市芳賀1-16-1
TEL 024-941-1121

●星総合病院保育所

〒963-8501 福島県郡山市大町二丁目2-14
TEL 024-923-5550

●星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地3号
TEL 024-951-0788

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hoshipital.or.jp>

発行／星総合病院

編集／「懸虹」編集委員会

発行日／平成22年1月31日

住所／〒963-8501

郡山市大町2丁目1-16

広報担当
菅野

新年明けましておめでとうございます。
元旦、東京方面にバスで出かける機会がありました。東京都内を走行中、バスガイドに促されて窓の外に目を向けると、そこには美しい富士山が！ガイドによると、そのようにはっきりと見えるのは珍しく、しかも元旦に眺めることができました。思いがけず富士山を拝むことができ、すばらしい年明けとなりました。
今年は寅年。目標に向かって慎重かつ着実に前進していく一年でありたいと思います。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

編集後記